

Small Talk台本（第3時・第4時のはじめ5分）

進め方（外国語活動）：帯活動として単元の後半に2回。4年は先生の話聞くことが中心で、ペアは2回目だけ30秒×2回（相手を替えて）。1回目のペアのあとに中間指導（下の「ことばの補給」）を挟む。なりきりではなく先生が作った料理と、作りたい料理で話す。

話題1 先生の日曜のカレー（第3時）

板書：How many? [先生のカレーの写真（か絵）・じゃがいも・にんじん・たまねぎのカード]

T Hello, everyone! I made curry on Sunday. Look! Potatoes, carrots and onions.

みんな、こんにちは。先生は日曜日にカレーを作りました。見て。（写真とカードを見せる）

T How many potatoes? Guess!

じゃがいもはいくつ入れたでしょう？（じゃがいものカードを指さす）

S Three!

3つ！（指で数を出すだけでもよい）

T Close! Four potatoes! And one big onion. Yummy!

おいしい！4つ。たまねぎは大きいのが1つ。おいしかった！（指で4・1）

T Next, I want to make soup. Soup with vegetables!

つぎは、やさいのスープを作りたいな。（第4時の話題2へ）

つまった子への助け舟：数が言えない子は、指で数を出すだけでよい（先生が Four! と言い直す）。

話題2 先生が作りたいスープ（第4時）

板書：What do you want? How many? [スープのなべの絵・トマトとマッシュルームのカード]

T This weekend, I want to make vegetable soup. You are the vegetable shop!

今週末、やさいのスープを作りたい。みんなは やおやさん。先生に聞いてね。（なべの絵）

S What do you want?

なにがほしい？（全員で。お店の人のことば）

T Tomatoes, please.

トマトを おねがい。

S How many?

いくつ？（全員で。板書を指さす）

T Three, please. Thank you! Now, in pairs. What do you want?

3つ、おねがい。（前の子から受け取って）ありがとう！ ペアで（30秒×2回・先に見本）

つまった子への助け舟：お店の人のことばが出ない子は、板書の2つを指さすだけでよい（先生がいっしょに言う）。



中間指導 1 回目のあとに全体で（ことばの補給）

第4時のペアの1回目のあとに全体で：「お店にその野菜がなかったら、なんて言う？」と聞き、先生がやおやさんになって Sorry! Sold out! →全員で2回言う（このあとのフルーツやさんで店の子が使うことば）。ふやすのはこの1つだけ。→ 相手を替えて2回目は、お店の人が1回だけ Sorry! Sold out! と言ってよい→お客はべつの野菜を please でのむ。おわりに「先生のスープ、ほかになにを入れよう？」とたずね、出た野菜のカードを1枚だけなべの絵に貼る（このあとのメモづくりへ）。

対話を続けることば 黒板横に掲示しておく

はじめる	Hello!
くり返す	Tomatoes? OK!（あいての言葉をくり返す）
ひとこと感想	Yummy! / Nice!
たしかめる	Pardon?
数をたずねる	How many?
わたす・もらう	Here you are. → Thank you!
おわる	Thank you. / See you!

先生へ

- ・4年の Small Talk も先生の話聞くのが中心。第3時はペアにしない（カレーの材料の数を指で当てる＝How many? は数をたずねることば。お店でも数をたずねると気づくのは 15-21 にしておく）。第4時のペアも30秒×2回で十分
- ・カレーとスープは、先生が本当に作った料理・作りたい料理に差し替えてよい（Word版で書き換えられる）。写真が無ければカードを貼るだけでよい。食材はしょくざいカードの野菜から（くだものとパフェは第3時のきくワークと第4時のお店にとっておく）
- ・子どもの家の料理や、食べられない物はたずねない（話すのは先生の料理だけ）。第4時は先生がお客、子ども全員がやおやさん＝What do you want? と How many? を言うのは子ども。音声は先生と子どもの声で、話題ごとに1本ずつ